

東日本高速道路株式会社

第14期定時株主総会

決議事項

第1号議案 . . . P 1

第2号議案 . . . P 2

第3号議案 . . . P 3

株主総会参考書類

議案及び参考事項

第1号議案 剰余金の処分の件

剰余金の処分に関しては、次のとおりとしたいと存じます。

当期は、高速道路の安全性向上のための維持修繕を積極的に実施したこと等の影響により、高速道路事業において損失が生じました。この損失については、高速道路事業における将来の経済変動及び豪雪等によるリスクに対応するため積み立ててきました別途積立金の一部を取り崩すことにしたいと存じます。

あわせて、都道府県等が管理するロックンブ橋脚を有する跨道橋の耐震対策を今後実施するため、別途積立金の一部を取り崩し、跨道橋耐震対策積立金に充当することにしたいと存じます。

また、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構との協定に基づく道路資産賃借料を確実に支払うとともに、引き続き、経営基盤を強化することが必要であると認識しております。そのため、可能な限り自己資本の充実に努めたいと存じますので、当期は無配とさせていただきます。

このようなことから、当期は以下のとおりとさせていただきたく、株主様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

1. 剰余金の処分に関する事項

(1) 減少する剰余金の項目およびその額

別途積立金	5, 108, 325, 012円
-------	-------------------

(2) 増加する剰余金の項目およびその額

繰越利益剰余金	408, 325, 012円
---------	----------------

跨道橋耐震対策積立金	4, 700, 000, 000円
------------	-------------------

※跨道橋耐震対策積立金の取崩は、取締役会決議により実施いたします。

2. 剰余金の配当に関する事項

株主に対する配当財産の割当てに関する事項およびその総額	なし
-----------------------------	----

第2号議案 取締役3名選任の件

取締役遠藤元一氏及び横山正則氏は、本総会の終結の時をもって辞任により退任されますので、その補欠として取締役2名の選任を、また、経営体制の更なる強化のため取締役1名を増員することとし、新たに取締役3名の選任をお願いしたいと存じます。

なお、澤田和宏氏は横山正則氏の補欠として、高橋知道氏は遠藤元一氏の補欠として選任をお願いするものでございます。

従いまして本総会において選任される取締役3名の任期は、当社定款の定めにより、他の在任取締役の任期の満了する時までとなります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名 (生年月日)	略歴および重要な兼職の状況	所有する 当社の 株式数
1	澤田 和宏 (昭和32年2月28日) 新任	昭和56年4月 建設省入省 平成26年7月 国土交通省北海道局長 平成27年11月 当社顧問 平成28年6月 当社常務執行役員建設・技術本部副本部長(現在)	0株
2	高橋 知道 (昭和33年1月25日) 新任	昭和57年4月 日本道路公団入社 平成27年6月 当社執行役員管理事業本部副本部長兼保全部長 平成28年6月 当社執行役員関東支社長 平成30年6月 当社常務執行役員関東支社長(現在)	0株
3	松崎 薫 (昭和34年3月14日) 新任	昭和59年4月 日本道路公団入社 平成27年6月 当社執行役員経営企画本部経営企画部長 平成28年6月 当社執行役員管理事業本部副本部長 平成29年6月 当社執行役員東北支社長 平成30年6月 当社常務執行役員東北支社長(現在)	0株

(注) 取締役候補者と当社間に特別の利害関係はありません。

第3号議案 退任取締役に対する慰労金贈呈の件

取締役遠藤元一氏及び横山正則氏は、本総会の終結の時をもって退任されますので、在任中の功労に報いるため、当社所定の基準に従い、相当額の範囲内において慰労金を贈呈いたしたいと存じます。また、その具体的金額等は、取締役会にご一任いただきたいと存じます。

退任取締役の略歴は次のとおりであります。

氏名	略歴
遠藤 元一	平成26年6月 当社取締役兼常務執行役員建設・技術本部長 平成28年6月 当社取締役兼常務執行役員管理事業本部長 平成28年10月 当社取締役兼専務執行役員管理事業本部長 平成30年6月 当社取締役兼副社長執行役員管理事業本部長（現在）
横山 正則	平成28年6月 当社取締役兼常務執行役員建設・技術本部長（現在）

以上